

つるみ在宅ケアネットワーク 第16回合同勉強会報告書

日時 平成29年10月11日(水) 19:00~21:00

場所 済生会横浜市東部病院3階多目的ホール

19:00 開会あいさつ

鶴見区医師会理事長 原 直先生



あいさつ

鶴見区福祉保健センター長 清水 文子 様



第1部

19:05 鶴見薬剤師会より 「ポリファーマシーについて」

(株) ヒューメディカ 唐澤 順子 様

- ・ 疑義照会の情報提供。
- ・ 薬薬連携での取り組み「お薬手帳見える化プロジェクト」の報告。
- ・ ポリファーマシーとは何か：多剤併用の患者で、薬剤による有害事象が起こっている状態である。→対応と工夫について。
- ・ eお薬さんの情報提供



鶴見歯科医師会より 「つるつるお口の相談室」

鶴見歯科医師会会長 佐藤 信二 先生

- ・ つるみ区歯科医療連携室 「つるつるお口の相談室」の情報提供
- ・ つるつるお口の相談室平成29年度上半期活動報告



第2部

19:20 テーマ：「摂食嚥下に関する取り組みの実際について」

鶴見大学歯学部 高齢歯科学講座 摂食機能療法専門歯科医師
菅 武雄 先生

- ・ 多職種で取り組む摂食嚥下・栄養問題についての講義
- ・ 当日に診た実際の事例から 病院でできること、在宅でできること
- ・ 「在宅の限界に挑戦」事例紹介
- ・ 摂食嚥下障害への対応の流れについての説明
- ・ 嚥下障害の検査についての説明
- ・ 嚥下精密検査で判る事
- ・ 摂食嚥下機能：臨床的重症度分類（DSS）についての説明
- ・ スイッチが入る瞬間・病院でできる事・在宅でできる事・連携していく事



【情報提供】

20：10 在宅における栄養管理

東邦薬品株式会社 管理栄養士 鈴木ゆき 様

- ・疾患別訪問実績についての報告
- ・「訪問看護ステーションで管理栄養士が行う、糖尿病を含む在宅栄養指導と薬局の関わりについて」の報告
- ・症例を通し管理栄養士継続訪問指導の必要性について。



20：18 横浜型地域包括ケアシステムについて

鶴見区高齢障害支援課 地域包括ケア推進担当係長 高橋 一輝 様

- ・横浜市の高齢者を取り巻く現状の報告
- ・横浜市の特徴としては地域ケアプラザを中心として取り組みを推進している。
- ・横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針の骨格
- ・地域包括ケアのこれまでの取り組みについての報告



20：26 生活支援コーディネーターの役割

横浜市鶴見区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 内藤 陽介 様

- ・第1層と第2層生活支援コーディネーターの役割
- ・生活支援体制整備事業の目的
- ・鶴見区の実践から生活支援コーディネーターの具体的役割について活動報告



20：36 平成29年度上半期救急概況

鶴見消防署 救急担当課長 村木 秀臣 様

- ・火災・救急概況：平成29年度上半期活動報告



20：41 鶴見区在宅医療連携拠点報告

鶴見区医師会在宅部門 鈴木 志律江 様

- ・事業・研修開催報告・相談件数：平成29年度上半期報告
- ・連携ノートについてインフォメーション



20：46 医療機関・新規参加医師紹介

横浜市済生会東部病院：三角院長・宮城医師・山崎医師
平和病院：増田院長・古川病院：古川院長

20：55 閉会のあいさつ

鶴見区医師会副会長 川名 明徳 様



次回：平成30年3月12日（月）開催予定

出席者数：121名

（医師19名 歯科医10名 薬剤師3名 行政5名 社協2名 医療連携室14名
地域包括7名 サービス事業所61名
当日出席者：4名 当日欠席者：6名